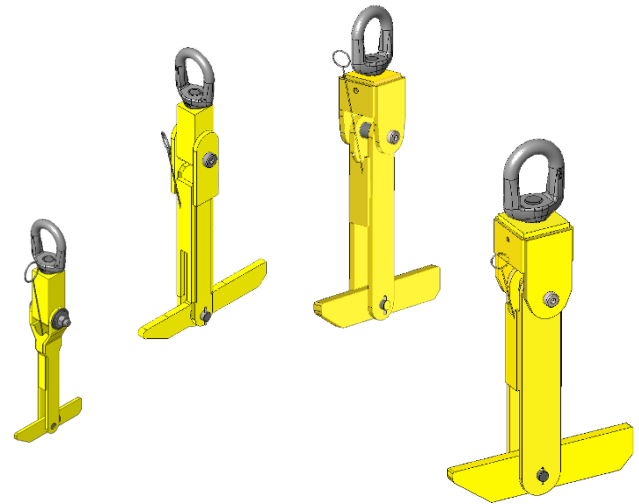
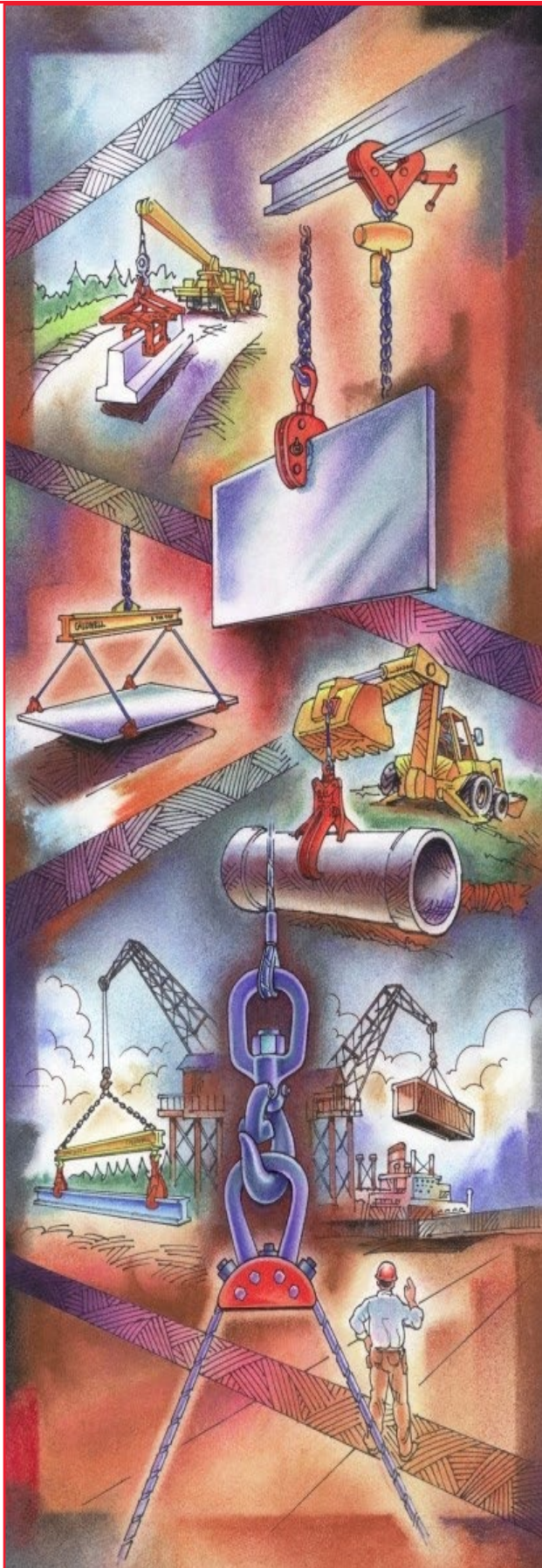


RIG-MASTER®

RIG-MASTER®
Rigging Attachments

取扱説明書

リールリフター



準拠規格 : ASME B30.20 BTH-1

設計カテゴリ : B

サービスクラス : 0

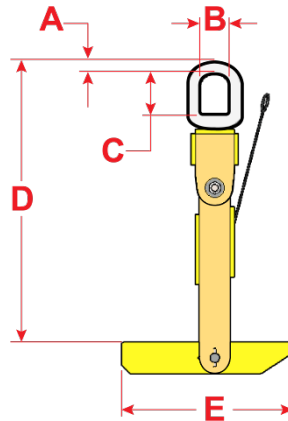


はじめ
に**RIG-MASTER®****警告**

重大な人身事故、死亡事故、物的損害を避けるため、組立、分解、使用、点検、メンテナンスの責任を持つ有資格者は、本取扱説明書の内容をすべて読み、十分にご理解下さい。この取扱説明書は大切に保管してください。

リールリフターは荷重支持型リールリフターであり、吊り荷が正しく積載された場合にのみ、使用荷重の最大値までご使用いただくことができます。リールリフターは特定の作業用であり、使用荷重に基づく力に耐えます。お客様の安全と、製品を正しくに操作するために、本取扱説明書の内容に従ってご使用ください。

本取扱説明書に記載されている安全情報は、すべてを網羅するものではありません。所有者または使用者は、業界標準および場所、地域、連邦の規制を理解し、それに従って行動する責任があります。



型式	使用荷重 (t)	寸法 - インチ									重量 lbs
		芯孔径		最小 パレル 内径	最大フランジ 厚さ	A	B	C	D	E	
		最小	最大								
RL-.25	1/4	1.25	2.0	5.5	2.0	0.50	1.50	1.92	12.5	5.00	5
RL-1.5	1 1/2	2.00	4.0	10.0	3.0	0.50	1.50	1.92	14.44	8.50	8
RL-3	3	3.00	5.0	13.0	4.0	0.75	2.00	2.63	17.38	11.00	17
RL-5.5	5 1/2	4.00	6.0	16.0	5.0	1.00	2.50	3.50	22.19	14.00	25
特注のロングアーム :											

リールリフターを記録

定格容量

型式

シリアルナンバー

自重

The Caldwell Group
PH 800-628-4263

Rated Cap Lbs

Model No

Serial No

Unit Wt Lbs

ASME B30.20 BTH 1

Design Category B Service Class 0

初期点検

輸送中の過度の振動、温度変化、誤った取り扱いの可能性があるため、使用前にすべての機器を点検してください。到着後、有資格者が本製品を初めてご使用する前に以下を点検してください：

- ✓ ユニット全体に損傷や部品の欠落がないか確認する。
- ✓ すべての留め具（ナット、ボルトなど）が締まっているか確認する。
- ✓ 本製品に適切に潤滑剤を使用しているか確認する。

潤滑

本製品の性能を最大限に発揮するためには、正しくご使用いただく必要があります。

使用頻度や環境条件に応じて、定期的な潤滑を行ってください。ご使用の機器の寿命は、この潤滑によって変わります：

- a. 適切な潤滑剤
- b. 適切な量
- c. 適切な場所
- d. 適切なタイミング

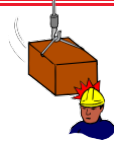
点検、メンテナンス

使用頻度や環境条件に応じて、定期的な点検・メンテナンスのスケジュールを立てる。

目次

はじめに	2
安全情報	5
リールの説明	9
リールリフターの説明	10
適切な吊り上げ	12
垂直吊り標準リールリフター	13
アップエンドリフトスタンダードリールリフター	16
標準リールリフターの取り外し	19
垂直吊り特注のロングアームリールリフター	20
アップエンドリフト特注のロングアームリールリフター	23
特注のロングアームリールリフターの取り外し方	25
巻き戻し	26
潤滑	28

安全



情報

警告

全般

以下の安全に関する説明は、リールリフターの設置、操作、点検を担当する、権限を与えられた有資格者を重傷または死亡から保護することが目的です。所有者または使用者は、設置、操作、保守、点検の際、危険から従業員を保護するために必要なすべての適切な装置、工具、方法を把握する責任があります。本取扱説明書に記載されている安全注意事項は、すべてを網羅するものではありません。本取扱説明書に記載されている安全情報は、すべてを網羅するものではありません。所有者または使用者は、業界標準および場所、地域、連邦の規制を理解し、それに従って行動する責任があります。

トレーニング

認定された有資格者は、保護具の使用、安全装置、およびリールリフターの安全な操作に関する包括的なトレーニングが必要です。リールリフターの操作、保守、点検は、認定された有資格者のみに許可してください。

個人の保護

物理的な接触によって身体的に害を及ぼす可能性のある危険がある場合は常に、個人用保護具が必要です。すべての個人防護具の構築要件は、実施される作業と一致していなければなりません。

危険

回避しないと死亡または重傷を負う危険な状況を示します。

警告

回避しないと死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示します。

注意

安全警告記号と共に使用され、回避しなければ軽傷または中程度の傷害を負う可能性のある危険な状況を示します。

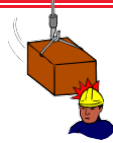


(ANSI Z535.4)

これは安全警告記号です。これは、人身傷害の危険性があることを知らせるためのものです。傷害や死亡の危険を避けるため、この記号に続くすべての安全メッセージに従ってください。

安全

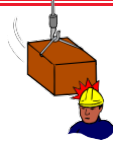
情報



警告

- | | | | |
|---------------|--|--------------------|---|
| 対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品到着後、まずは輸送時の損傷や部品の紛失が発生していないことを確認してください。 ・ 紛失または損害があった場合は配送業者の担当者に連絡してください。 | 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 吊り荷やリールリフターに人が乗ることを禁止します。誰からの停止信号にも従ってください。適切にバランスの取れた吊り荷のみを吊り上げ、輸送してください。吊り荷の吊り上げまたは輸送の準備ができていないことを確認してください。吊り上げや輸送をはじめる前に、輸送エリアに人や物理的な障害物がないことを確認してください。すべての吊り荷をゆっくりとスムーズに加速および減速してください。 |
| 使用する前に | <ul style="list-style-type: none"> ・ リールリフターを操作、検査、保守、または保守する前に、このマニュアルを読んで理解してください。資格のある人だけがリールリフターの設置、操作、検査、および保守を許可してください。 | | |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者が適切な吊り上げおよびリギング技術について資格または認定を受けていることを確認してください。 ・ 使用者に、リールリフターを使用した適切な吊り上げ技術のデモンストレーションを要求してください。 ・ 移動経路が明確であることを確認してください。 ・ 最初に使用する前にリールリフターをテストしてください。 ・ 振り幅、落下位置、衝突位置に人が近づかないようにしてください。 ・ 吊り荷の重量がリールリフターの使用荷重を超えないことを確認してください。 ・ 吊り荷とリールリフターを合わせた重量がホイストの使用荷重を超えないことを確認してください。 ・ すべての吊り具にねじれ、よじれ、損傷がないことを確認してください。 ・ すべての吊具がホイストフックに正しく、完全に収まっていることを確認してください。 ・ 吊り荷を吊り上げたり運搬したりする前に、吊り荷の重心がホイストの中心に合っていることを確認してください。 ・ 吊り荷がリールリフターによって加えられる力に耐えられることを確認してください。 ・ 吊り荷を点検し、リフトまたはリールリフターから落下しないことを確認してください。 ・ リールリフターを点検し、すべての機器の調整が正しく、安全であることを確認してください。 ・ 吊り荷を人の上に吊り上げないでください。 ・ 人を吊り上げないでください。 | リフティング サイクル | <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全でない吊り荷や均衡でない吊り荷を吊り上げないでください。「サービス停止中」のラベルが付いたリールリフターは使用しないでください。負荷の有無にかかわらずリールリフターでゆっくりと静かに吊り上げてください。吊り荷の昇降、運搬は指定された場所でのみ行ってください。 ・ 吊り荷の積み込み、吊り上げ、運搬中は、リールリフターをいかなる物にも接触させないでください。 ・ 吊り荷を揺らさないでください。また、吊り荷はゆっくり運搬してください。 ・ 負荷の有無にかかわらず、リールリフターをぶつけると、過度の揺れを引き起こします。 ・ 衝撃荷重下や横荷重下では使用しないでください。 ・ 吊り荷を地面に引きずらないでください。 ・ 負荷の有無にかかわらずリールリフターをゆっくりスムーズに運搬してください。 ・ 吊り荷の下に人が立つことを禁止してください。 ・ 使用者が吊り荷を放置することを禁止してください。 ・ 吊り荷を静かに降ろしてください。 |
| | | 入庫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 清潔なリールリフターは指定された場所で保管してください。 |
| | | 修飾 | <ul style="list-style-type: none"> ・ リールリフターを改造する場合、事前にコールドウェルグループから書面による承認を確保してください。修理または改造されたリールリフターについては、ASME B30.20を参照してください。 |

安全



情報



警告

実検

- ・ 任命された人は、リールリフターを目視検査するものとします。使用頻度ごとの毎日または毎週のスケジュール。定期的な検査スケジュールを立てます。

すべての吊り上げ点検

吊り上げ前および吊り上げ中の使用者による目視検査。

頻繁な点検

使用者またはその他の指定された人による目視検査
※記録は必要ありません。

通常の使用頻度…………… 毎月
頻繁に使用…………… 毎週から毎月
酷使…………… 毎日から毎週
特別または不定期の使用…………… 有資格者の判断

定期点検

有資格者による目視点検、継続的な評価のための記録の保持

通常の使用頻度…………… 毎月
頻繁に使用…………… 毎週から毎月
酷使…………… 毎日から毎週
特別または不定期の使用…………… 有資格者の判断

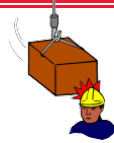
点検項目：

- ・ リールリフターと共に使用されるすべてのリギング
- ・ 動作不良
- ・ ベール、スイベル部、吊り上げバー、回転ブロック、アームの損傷、摩耗、亀裂、欠陥
- ・ ファスナー、潤滑剤注入口などの緩みや損傷
- ・ 構造的な曲がり、亀裂、または欠陥
- ・ 識別ラベルおよび製品安全ラベルの損傷、摩耗、紛失

完全のための点検は上記に限定されるものであるません。

コールドウェル・グループからの事前の書面による承認なしに本製品を改造した場合、保証は無効になります。
修理および改造されたリフターの責任については、ASME 30.20 を参照してください。

安全



情報

警告

吊り荷の損傷

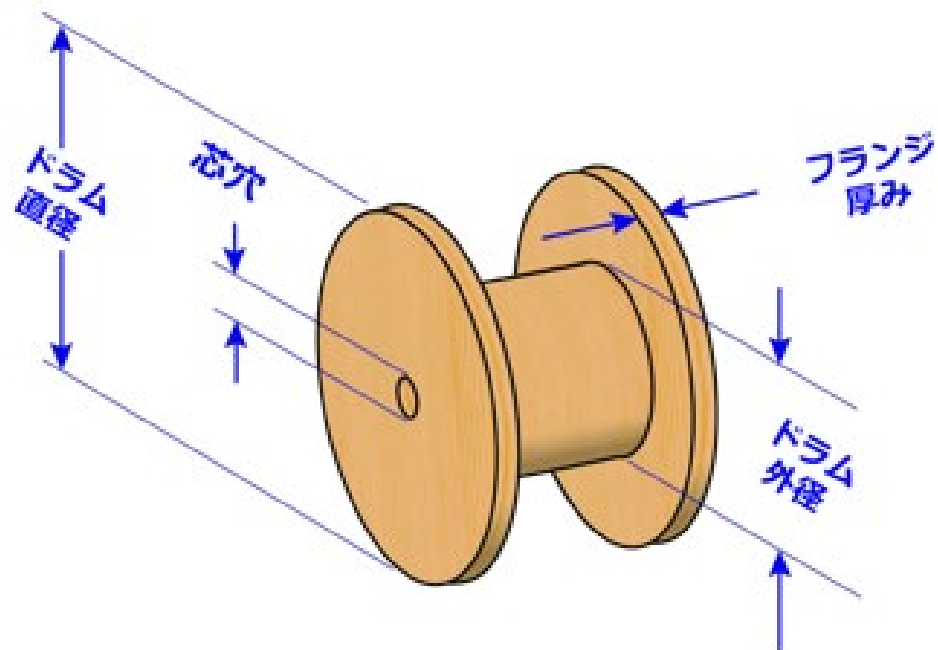
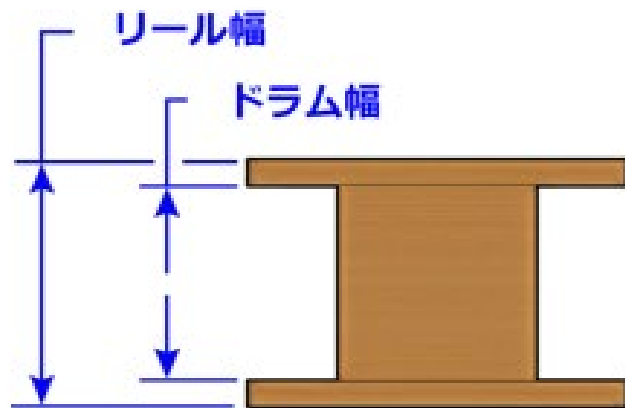
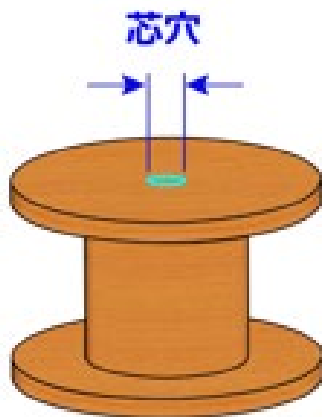
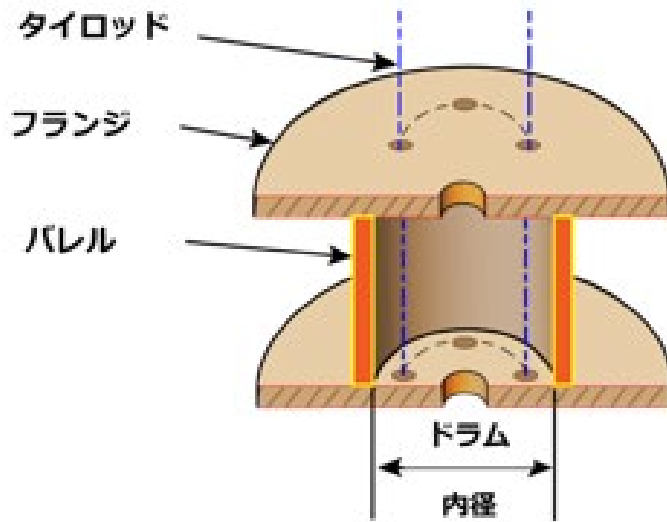
吊り荷の落下

リールリフターを使用する前に、リールまたはスプールが本製品による負荷に耐えられることを確認してください。不適切な使用方法については、リールの提供者またはメーカーにご相談ください。リールの提供者もしくはメーカーからリールリフターが適切な吊り上げ器具として承認された場合、リールの状態に問題がないことを確認してください。損傷したリールを吊り上げないでください。



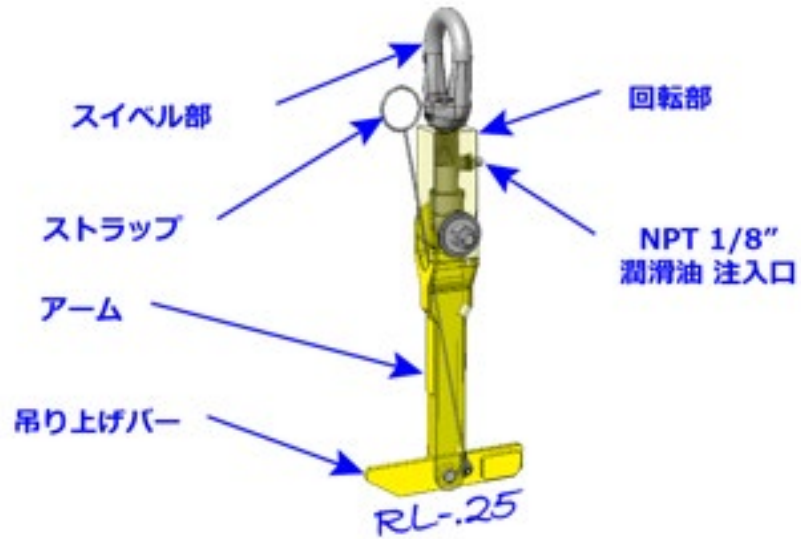
リールの説明

RIG-MASTER®

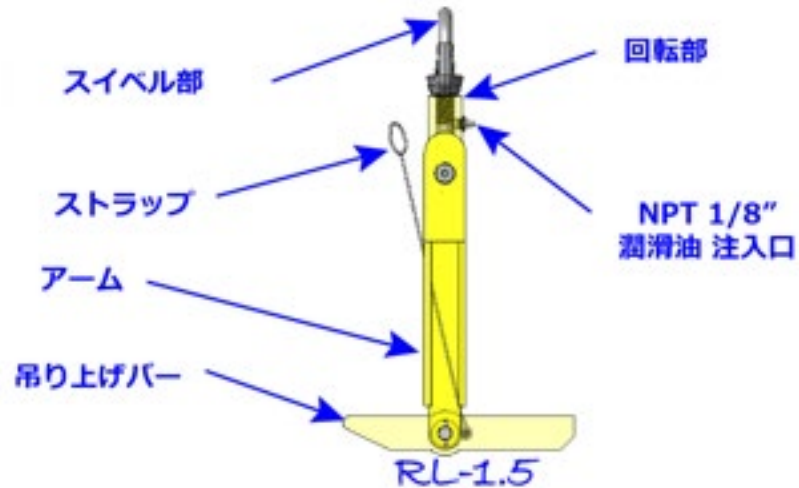


RL-.25

芯穴径：
1.25インチ、最小直径
2.00インチ、最大直径

**RL-1.5**

芯穴径：
2.00インチ、最小直径
4.00インチ、最大直径

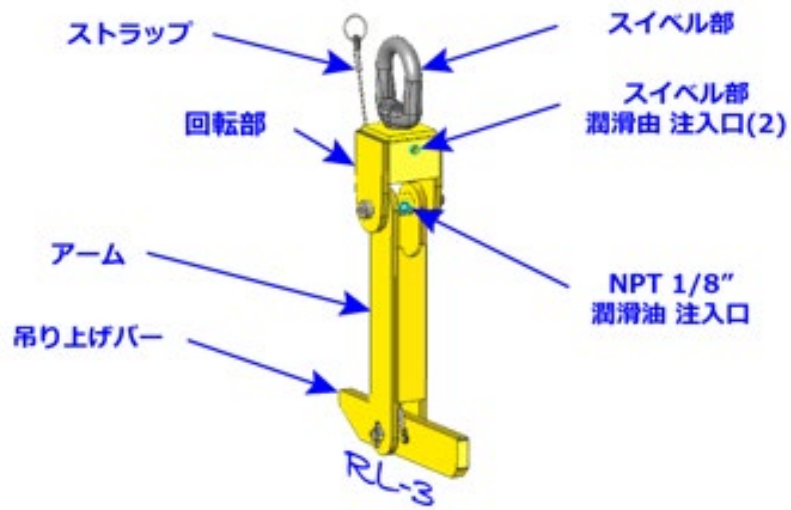


リールリフターの説明

RIG-MASTER®

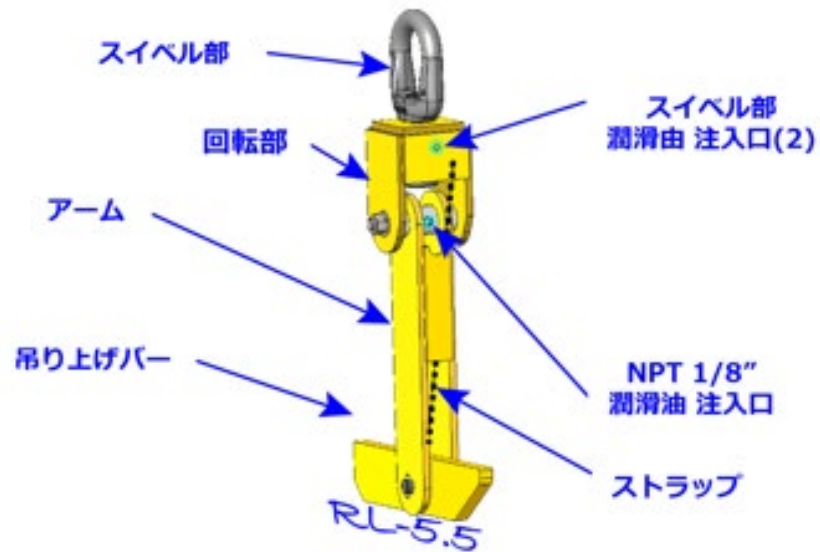
RL-3

芯穴径:
3.00インチ、最小直径
5.00インチ、最大直径



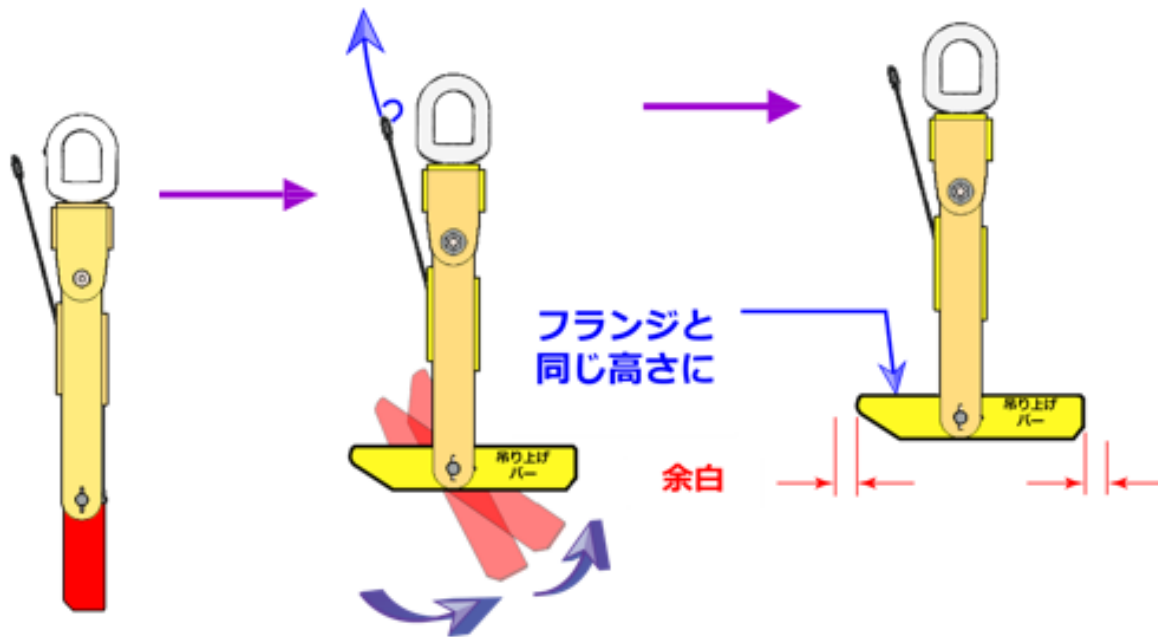
RL-5.5

芯穴径:
4.00インチ、最小直径
6.00インチ、最大直径



適切な吊り上げ

RIG-MASTER®



吊り上げバーの初期位置は垂直が標準です。

ストラップを上を引き上げると、吊り上げバーが垂直から水平に回転します。

リールリフターをリールに挿入する前に、吊り上げバーが90°回転し、ドラムの壁とタイロッドが干渉しないよう十分なスペースがあることを確認してください。

吊り上げバーが90°回転して水平になったら、吊り上げバーの上面がリールの上面、フランジ内側の面と同じ高さになるまで、ゆっくりとリールリフターを吊り上げます。

垂直吊り

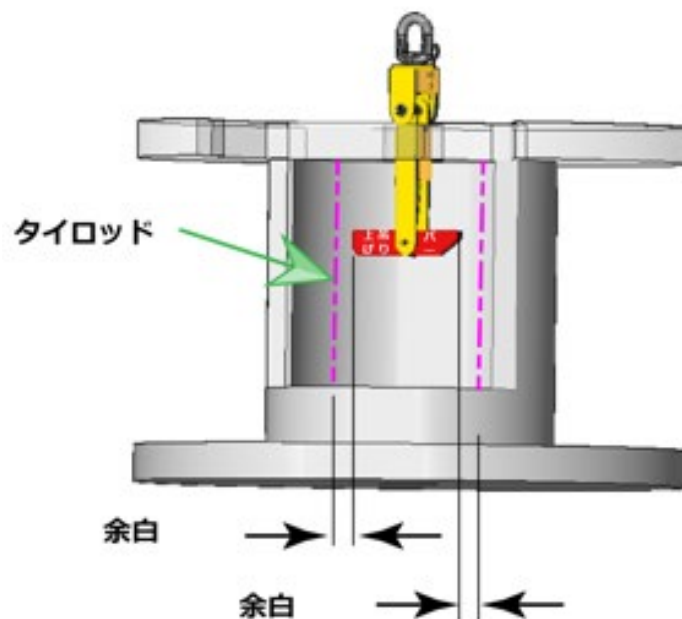
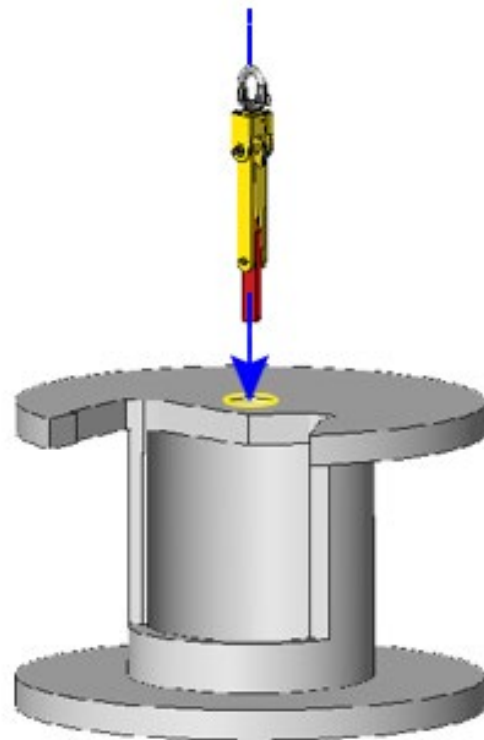
標準リールリフター

RIG-MASTER®

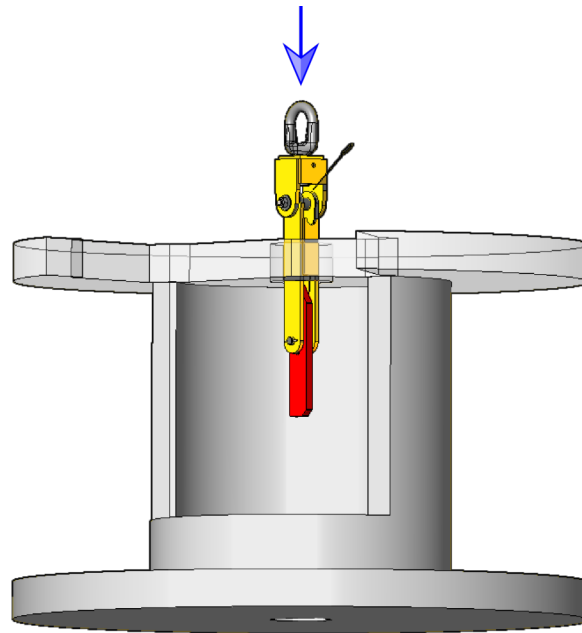
1. リールの状態に問題がないことを確認し、リールに巻かれたワイヤーやケーブルなどがしっかりと固定されており、持ち上げ、運搬、再配置中に予期せぬ巻き戻しが無いことを確認してください。
1. リールリフターがリールの要件を満たしていることを確認してください：
 - a. 大きさ
 - b. 芯穴の直径
 - c. フランジの厚さ
 - d. リールの重量
3. リールリフターを挿入する前に、吊り上げバーの長さを確認してください。リールのドラムの中で吊り上げバーが回転できるように、吊り上げバーはドラムの内径とすべてのタイロッドと干渉しないようスペースを確保する必要があります。



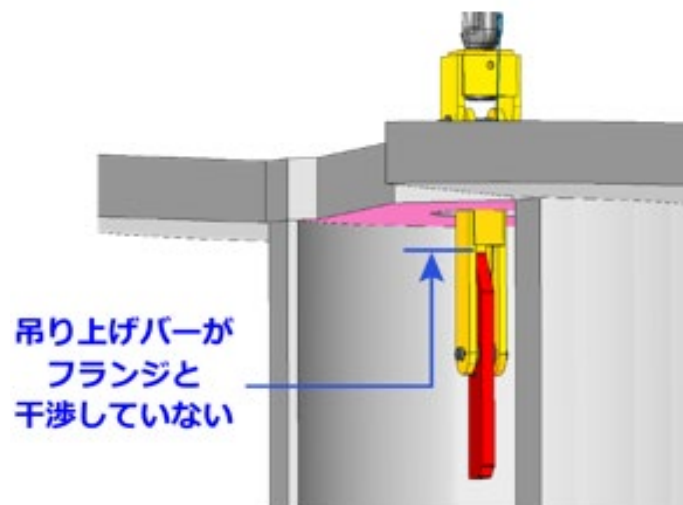
4. リールリフターをホイストに取り付け、ホイストの使用荷重がリールリフターと吊り荷の合計重量以上であることを確認してください。



5. リールリフターをリールの芯穴に挿入します。



6. リールリフターをドラム内に降ろし、吊り上げバーが上部のフランジ内側の面に干渉していないことを確認してください。



垂直吊り 標準リールリフター

RIG-MASTER®

7. 吊り上げバーがフランジと干渉しないことを確認したら、ストラップを上方に引き、吊り上げバーを垂直から水平に回転させます。

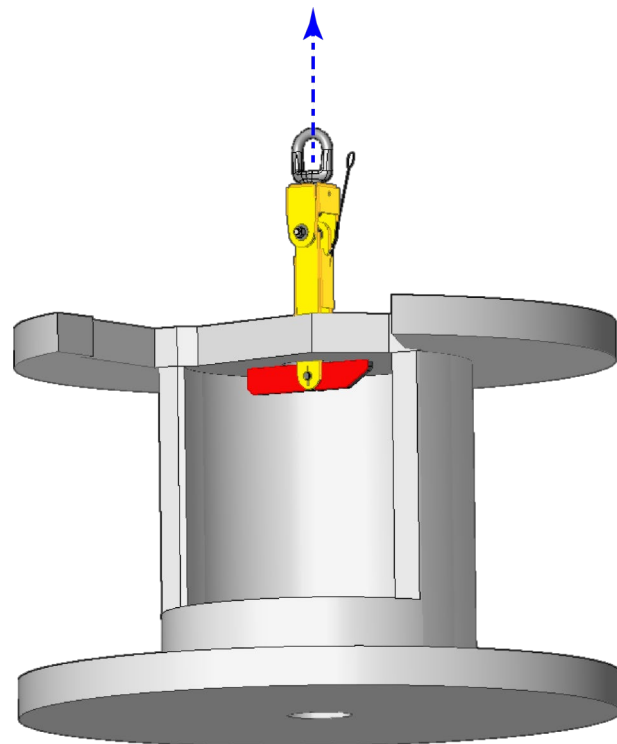
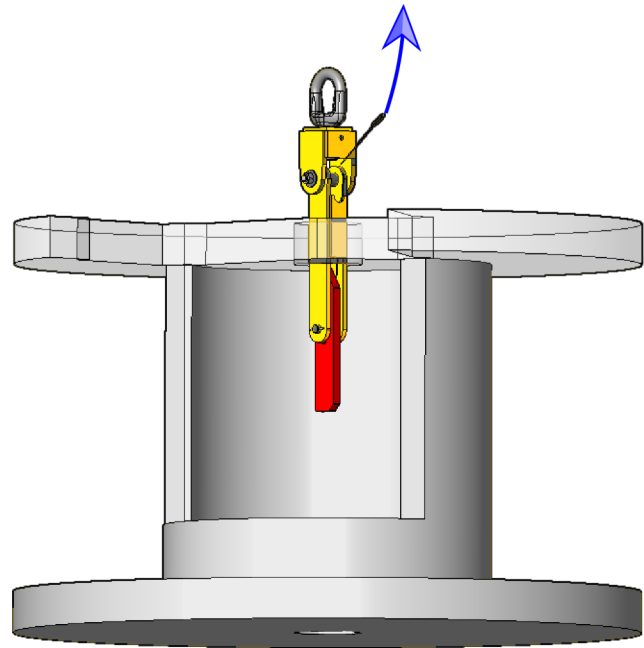
8. 吊り上げバーが下部フランジ面と水平に揃うまで、リールリフターを上へ引っ張ります。

9. 負荷がかかったリールリフターを吊り上げる前に、すべての調整が正しく安全であることを確認してください。

10. 数センチ試しに吊り上げ、リールの安定性、リールリフターの位置、適切なバランスを確認してください。

11. 吊り上げ位置と運搬位置の両方に人や障害物がないことを確認してください。

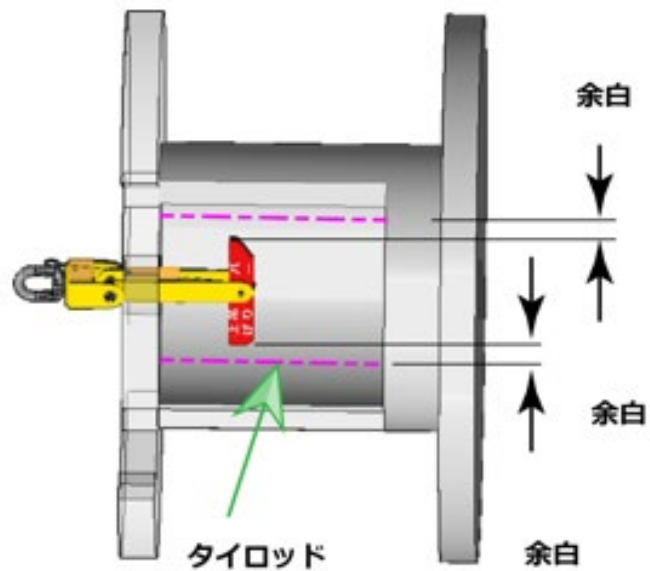
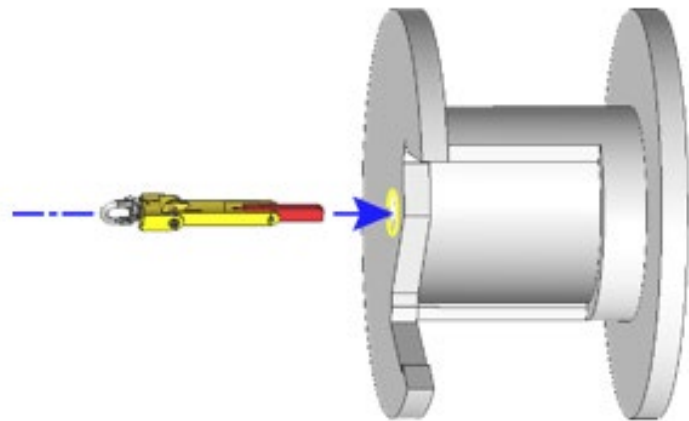
12. すべての検証が正しいことを確認した後、リールリフターで吊り荷を吊り上げ、運搬、再位置決めのための準備が完了です。



アップエンドリフト 標準リールリフター

RIG-MASTER®

1. リールの状態に問題がないことを確認し、リールに巻かれたワイヤーやケーブルなどがしっかりと固定されていることを確認してください。これにより、持ち上げ、運搬、再配置中に予期しない巻き戻しが防止されます。
2. リールリフターがリールの要件を満たしていることを確認してください：
 - a. 大きさ
 - b. 芯穴の直径
 - c. フランジの厚さ
 - d. リールの重量
3. リールリフターを挿入する前に、吊り上げバーの長さを確認してください。リールのドラムの中で吊り上げバーが90°回転できるように、吊り上げバーはドラムの内径とすべてのタイロッドと干渉しないようスペースを確保する必要があります。

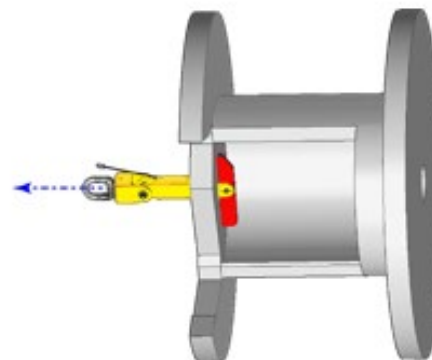
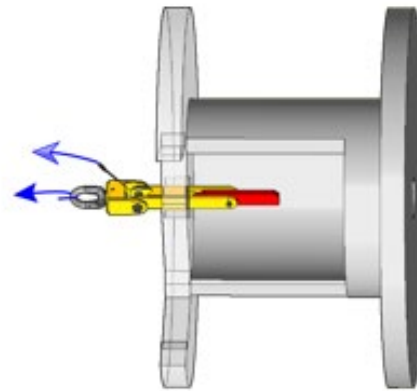
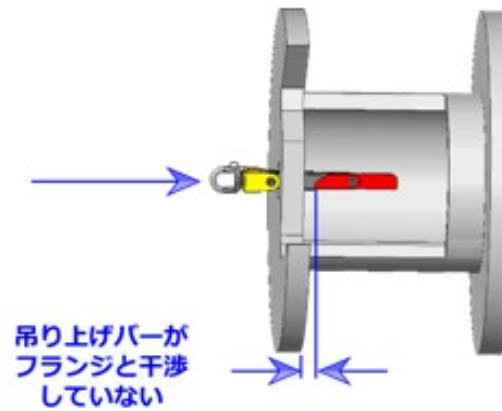


4. リールリフターをホイストに取り付け、ホイストの使用荷重がリールリフターと吊り荷の合計重量以上であることを確認してください。

アップエンドリフト 標準リールリフター

RIG-MASTER®

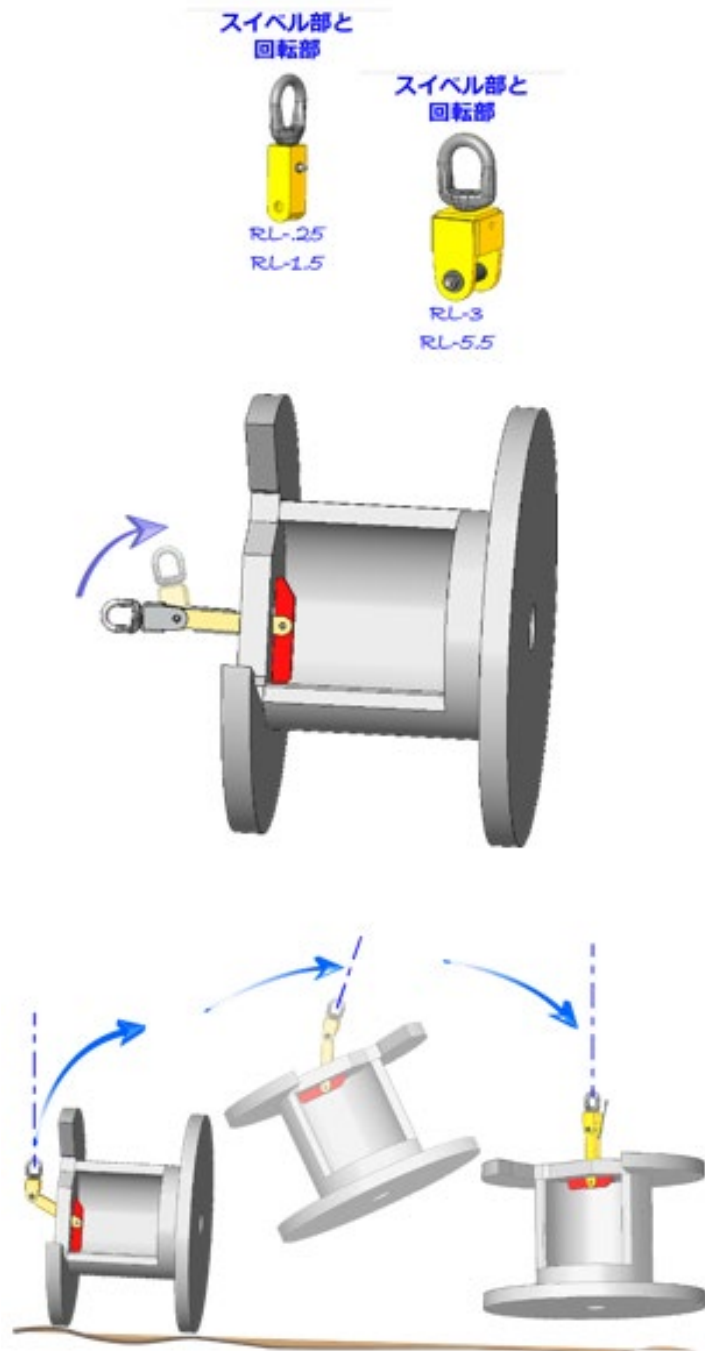
5. リールリフターをリールの穴芯径の直径に挿入します。
5. 吊り上げバーがフランジ面と干渉していないことを確認しながら、リールリフターをリールドラムの中に降ろします。
5. 吊り上げバーがフランジと干渉しないことを確認したら、ストラップを上方に引き、吊り上げバーを90°回転させます。
8. 吊り上げバーがフランジ面と垂直になるまでリールリフターを引き上げます。

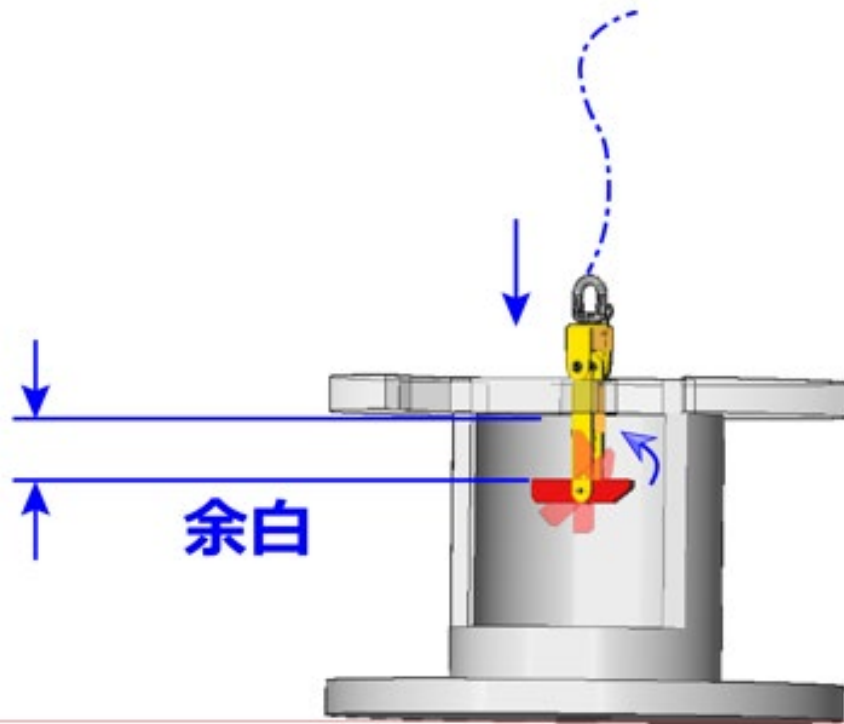


アップエンドリフト 標準リールリフター

RIG-MASTER®

9. 上向きに引っ張るリールリフターのベールはスイベル部を作動させます。
10. クレーンが移動中、上昇中はホイストをリールリフターのベールに合わせてください。
11. 負荷がかかったリールリフターが元の開始位置から90°回転し、逆転するまで続けます。
12. 垂直吊りで、吊り上げ、運搬、再配置を続けます。





1. リールリフターをドラム内に降ろし、吊り上げバーが上部のフランジ内側の面に干渉していないことを確認してください。
2. ホイスト部にたるみがあると、アームは水平から垂直に90°回転し初期位置になります。
3. 垂直に引っ張りながら、ゆっくりとリールリフターをリールから引き上げます。

垂直吊り

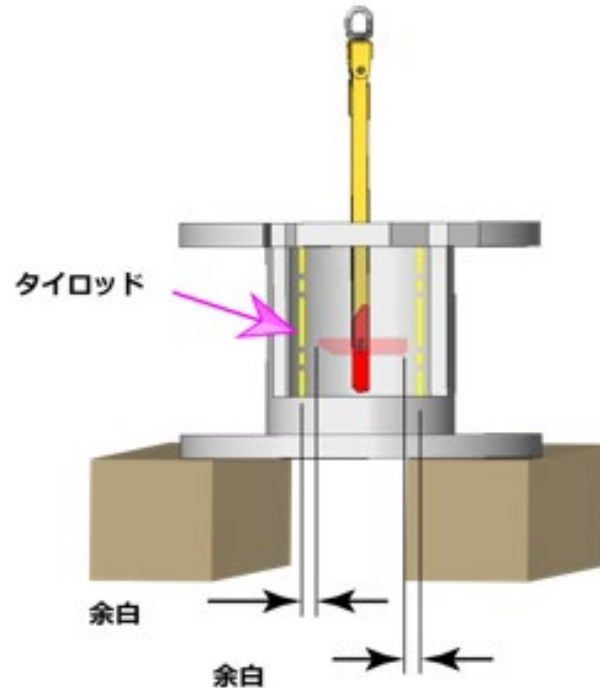
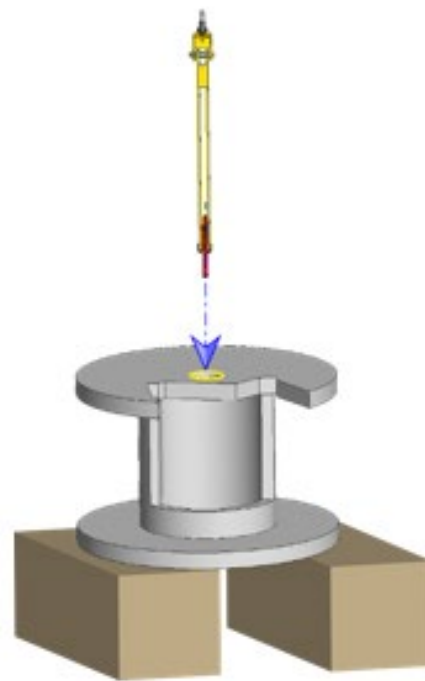
特注のロングアームリールリフター

RIG-MASTER®

1. リールの状態に問題がないことを確認し、リールに巻かれたワイヤーやケーブルなどがしっかりと固定されており、持ち上げ、運搬、再配置中に予期せぬ巻き戻しがないことを確認してください。
2. リールリフターがリールの要件を満たしていることを確認してください。：
 - a. 大きさ
芯穴の直径、
フランジの厚さ、および
リールの重量。
3. リールリフターを挿入する前に、吊り上げバーの長さを確認してください。リールドラムの中に入れた時に、吊り上げバーがドラムの内側やすべてのタイロッドと干渉していないことを確認し、吊り上げバーが90°回転できるようにしてください。



4. リールリフターをホイストに取り付け、ホイストの使用荷重がリールリフターと吊り荷の合計重量以上であることを確認してください。

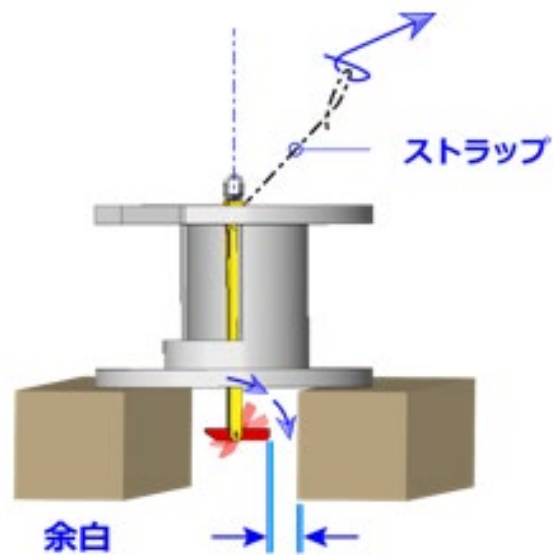
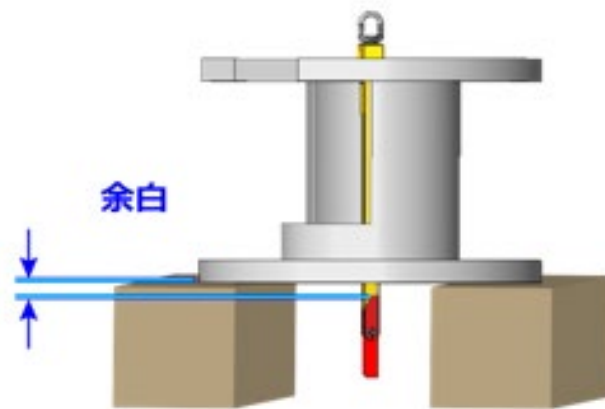


垂直吊り

特注のロングアームリールリフター

RIG-MASTER®

5. 特注のロングアームリールリフターを使用する場合、リールリフターの挿入および取り外し中に、吊り上げバーの回転のための十分な間隔を確保する必要があります。
6. リールリフターをリールの芯穴に挿入します。
7. 吊り上げバーがフランジ面と干渉していないことを確認しながら、リールリフターをリールドラムの中に降ろします。
8. 吊り上げバーが底のフランジ面と干渉しないことを確認したら、ストラップを引き上げ、吊り上げバーを垂直から水平に90°回転させます。
9. ゆっくりと、吊り上げバーが底面と同じ高さになるまでリールリフターを引き上げます。
10. 負荷がかかったリールリフターを吊り上げる前に、すべての調整が正しく安全であることを確認してください。

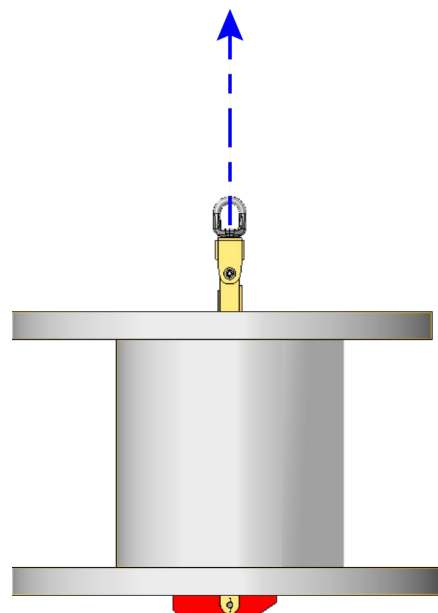
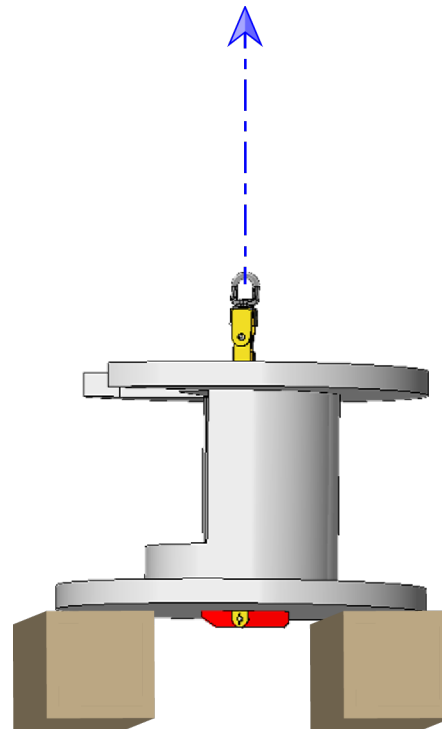


垂直吊り

特注のロングアームリールリフター

RIG-MASTER®

11. 数センチ試しに吊り上げ、リールの安定性、リールリフターの位置、適切なバランスを確認してください。
12. 吊り上げ位置と運搬位置の両方に人や障害物がないことを確認してください。
13. すべての検証が正しいことを確認した後、リールリフターで吊り荷を吊り上げ、運搬、再位置決めが完了です。

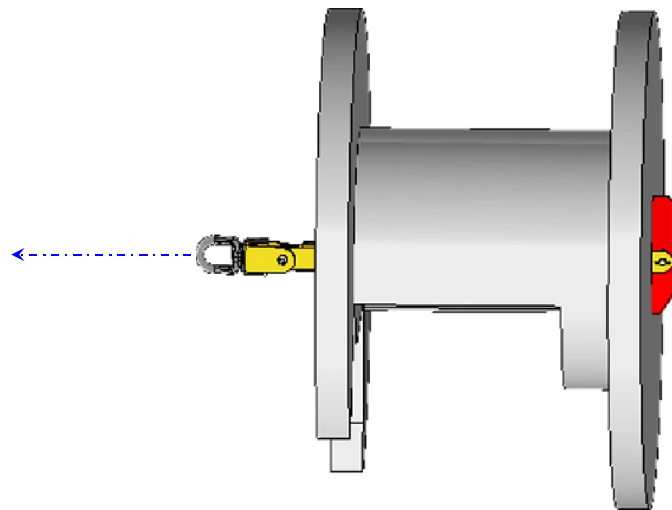
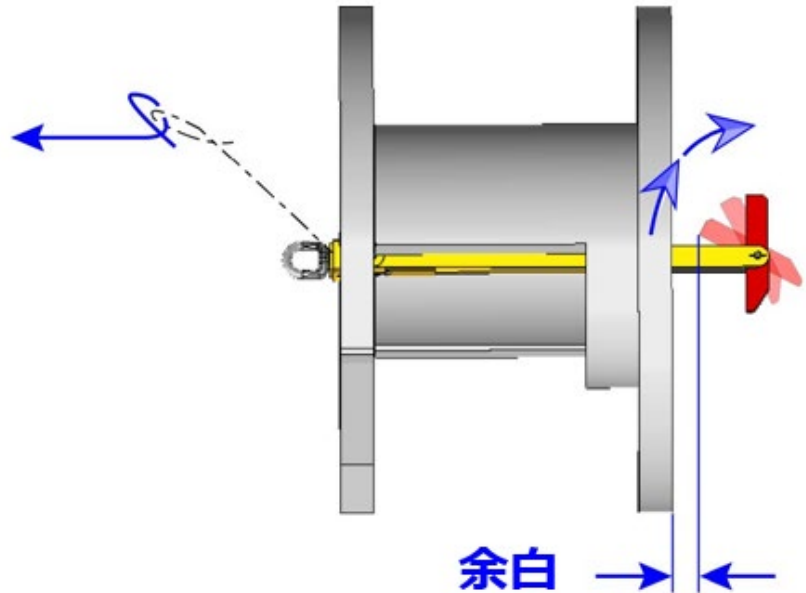


アップエンドリフト

特注のロングアームリールリフター

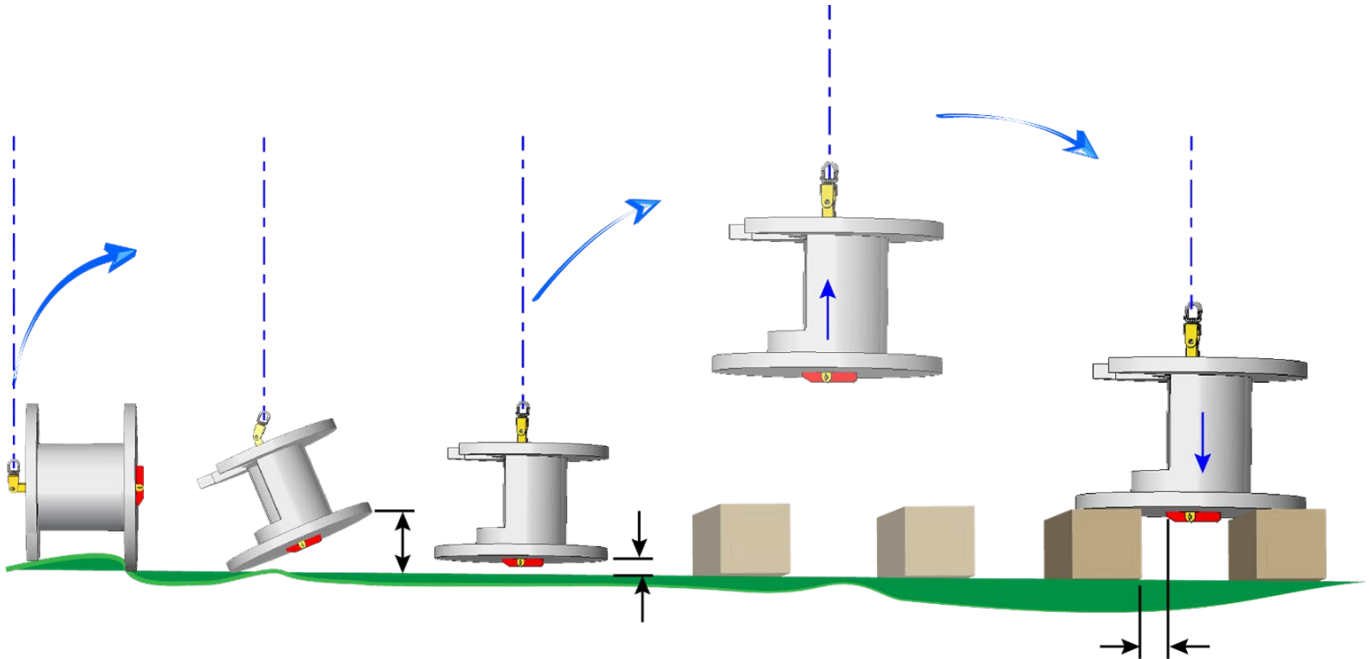
RIG-MASTER®

6. 吊り上げバーがフランジ面と干渉していないことを確認しながら、リールリフターをリールドラムの中に降ろします。
7. 吊り上げバーが底のフランジ面と干渉しないことを確認したら、ストラップを引き上げ、吊り上げバーを垂直から水平に90°回転させます。
8. ゆっくりと、リールをドラムから引き出します。吊り上げバーは、底面フランジと垂直かつ同じ高さにしてください。
9. 負荷がかかっているリールリフターを90°回転させる前に、すべての調整が正しく確実にに行われていることを確認してください。
10. リールの安定性、リールリフターの位置、ベールの回転が自由に動作し、負荷バランスが適切であることを確認するために、数センチ吊り上げを行ってください。
11. 吊り上げ位置と運搬位置の両方に人や障害物がないことを確認してください。
12. すべての検証が正しいことを確認した後、リールリフターで吊り荷を吊り上げ、運搬、再位置決め準備が完了です。

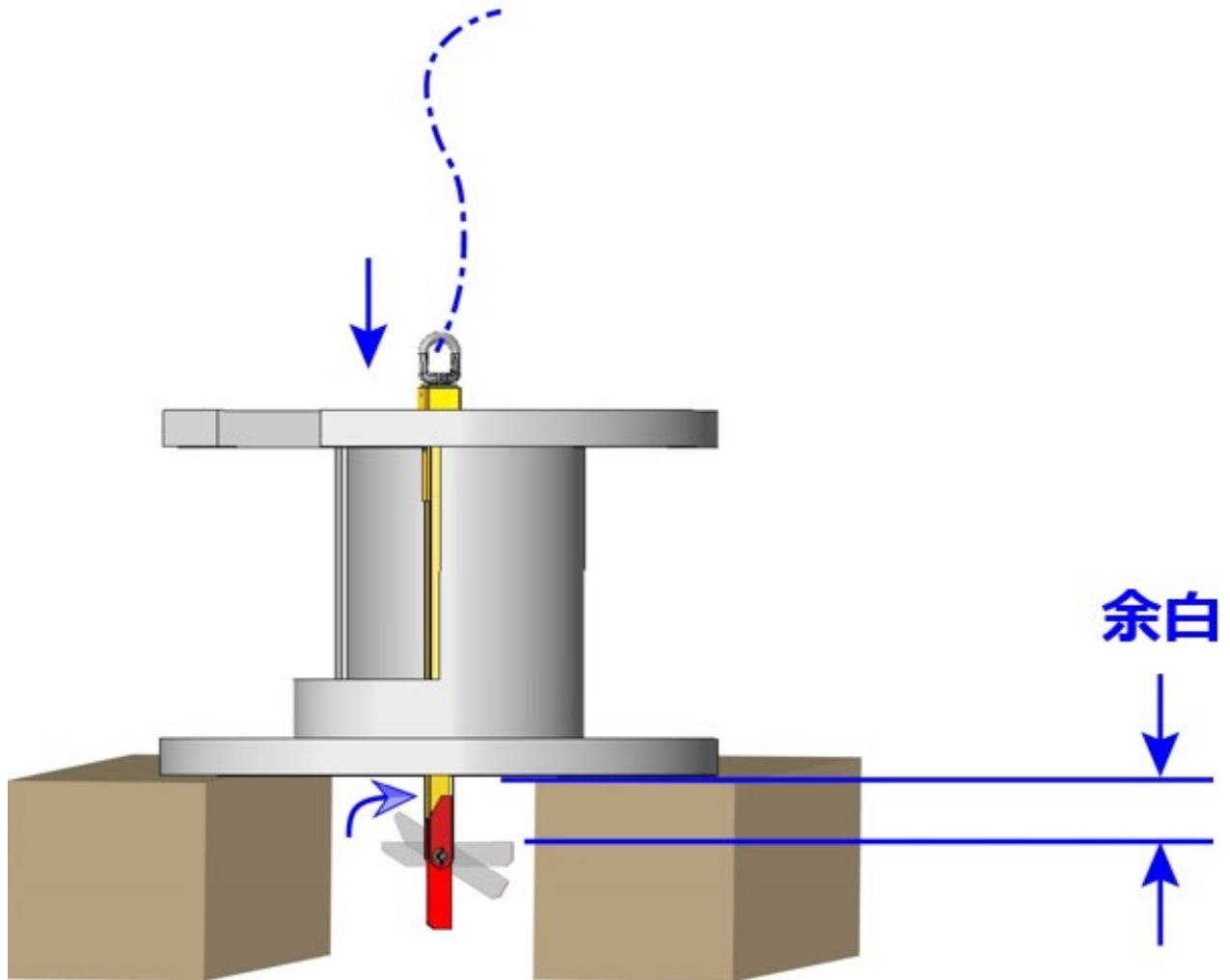


アップエンドリフト 特注のロングアームリールリフター

RIG-MASTER®



13. クレーンが上昇中に移動するときは、ホイストをリールリフターのベールに合わせてください。
14. スイベル部を回転させ、引き起こす時、吊り上げる軌道をベールの中心に対して垂直に保ってください。
15. また、引き起こしている間、負荷がかかったリールリフターと地面との間の間隔を確保してください。
16. リールリフターが90°回転したら、垂直吊りで吊り荷を運搬してください。運搬先が、リールリフターを取り外す時に吊り上げバーの回転のための十分な間隔があることと、負荷がかかったリールリフターを安全に使用できることを確認する必要があります。

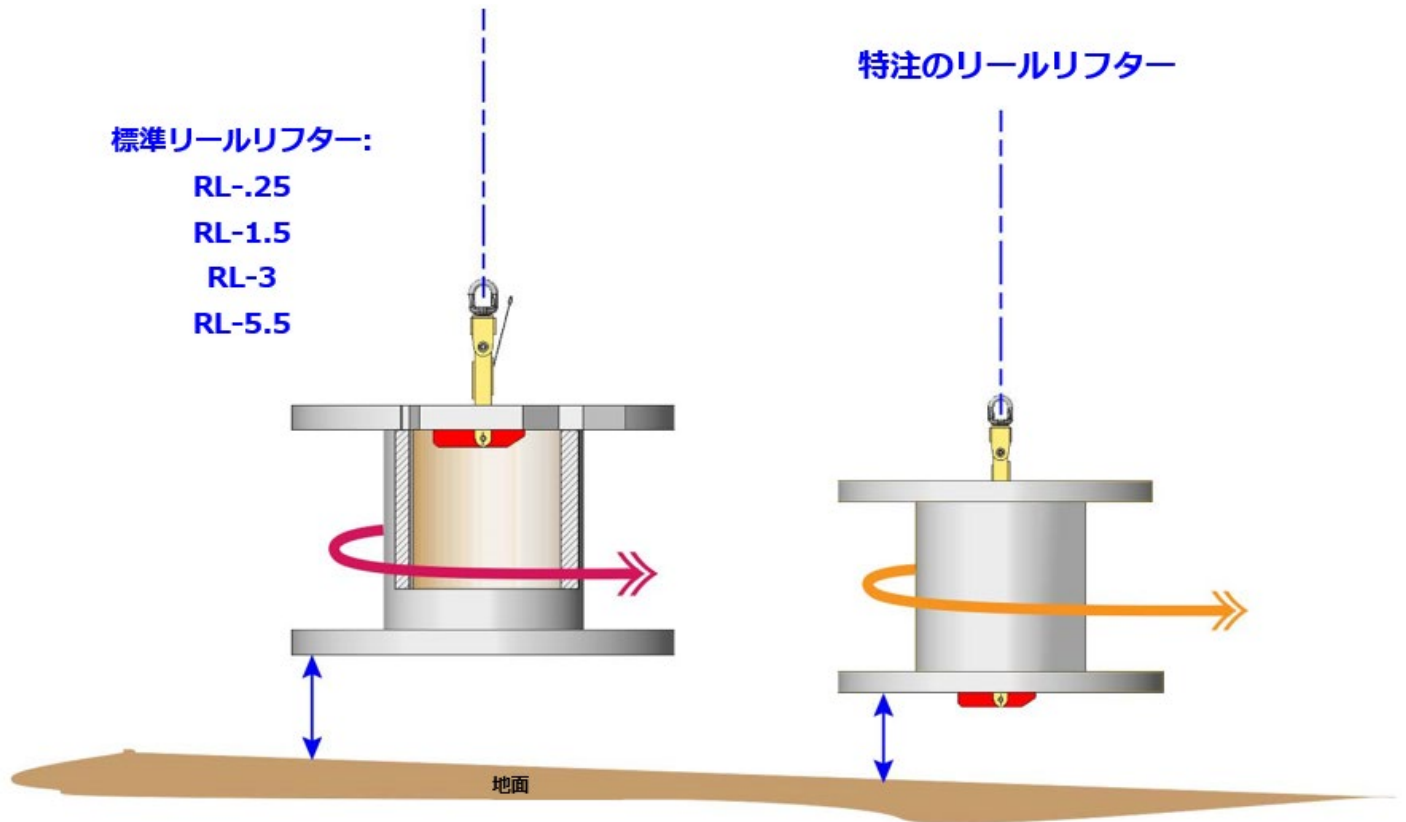


1. リールリフターをドラム内に降ろし、吊り上げバーと底のフランジ面との間にスペースを確保してください。
1. 吊り上げる軌道をずらし、吊り上げバーを水平から垂直に90°回転させてください。
1. 垂直に引っ張って、ゆっくりとリールリフターをリールから引き抜いてください。


警告

吊り荷の損傷

急激に巻き戻しをしないでください。巻き戻しの際、衝撃を与えたり、不規則にケーブルやワイヤーなどを引っ張らないでください。



1. リールが回転し、巻き戻しの際にスペースを確保できるように、フランジの底面が地面から数インチ上になるように、負荷のかかったリールリフターを配置してください。
1. ゆっくり、着実に、一定のペースでリールを巻き戻してください。

潤滑

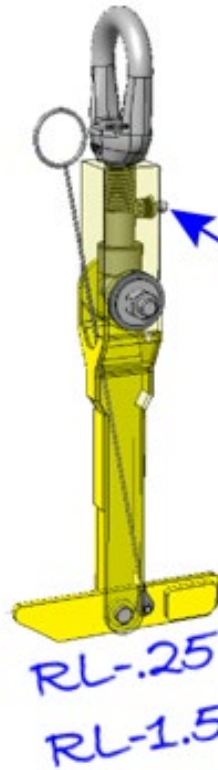
RIG-MASTER®


警告

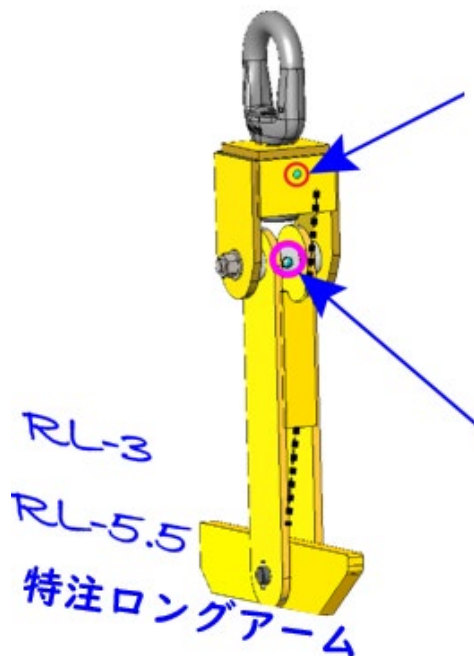
リールリフターにゴミが付着しないようにし、十分に潤滑してください。

リールリフターは、使用の度合いや環境条件に応じて、毎週または必要に応じて潤滑し、ベールの回転を維持してください。

潤滑は、本製品の性能を最大限に発揮するために不可欠です。



NPT 1/8" 潤滑油 注入口
グリースガンで
XHP222と同等の
潤滑油を塗る



スイベル部
潤滑油 注入口(2)
(1)手前側
(1)反対側
注射針でドライ
シリコンスプレーを塗布

NPT 1/8" 潤滑油 注入口
グリースガンで
XHP222スペシャルと同等の
潤滑油を塗る

メモ

■お問い合わせ先

RUD  **SpanSet**



株式会社 ルッドスパンセットジャパン

本 社 〒550-0005 大阪市西区西本町2-5-28 コスモ西本町ビル 901号 TEL:06-6536-8807
東京営業所 〒135-0064 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 1132号 TEL:03-6457-1747
奈良物流センター 〒633-0061 奈良県桜井市上之庄720-3 TEL:0744-49-2780

ホームページ

<https://www.rud-spanset.jp>

2023.01